
ずるい

花浅葱羽羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ずるい

【コード】
N3641N

【作者名】
花浅葱羽羅

【あらすじ】
裏切った彼女と貫いた僕の最後。

初めて、最初に私が裏切ったのは彼方でした。そう笑う彼女の頬には涙の後がしつかりと残っていた。泣かせたのは僕だ。それは分かっているのだけれど、僕は慰めたりはしない。だって裏切ったのは君で、僕は僕のやるべきことを貫いただけだった。だから、どうして君が泣くのか分からない。

泣きたいのは僕のはずだろう。でも、枯渴した僕の涙は流れない。

「世界で唯一信じていたのに。」

そう言ったのはどちらだったか分からないけど、僕は彼女を上司からの命令通りに殺したただけだった。彼女を殺した後僕も僕の涙は枯れてしまつて流れなくて、彼女はそれを知っていたから僕の前で涙を流すことはしなかったんだと思いついた。それは、今更同等を装つたつもりでいた彼女の虚勢だったんだ。

（そんな、平等だなんて、ずるいじゃないか。）

僕の涙は枯れてしまっていた。

(後書き)

ところで、私は心の底から信じていた人に裏切られるという展開が苦手です。物語としてはこの上なく面白いとは思いますが、どうも苦手です。(だからどうしたという話ですが。)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3641n/>

ずるい

2010年10月10日06時33分発行